

社会福祉法人 日本盲人福祉委員会

平成 29 年度事業報告

(自 29 年 4 月 1 日～至 平成 30 年 3 月 31 日)

第 I 章 第二種社会福祉事業

1 各種盲人団体及び盲人福祉施設への助成事業

当委員会は「愛盲シール運動」による全国からの支援を受け、本年度も視覚障害者団体、福祉施設、盲学校、その他各種団体等への助成を行った。

本事業の原資は全国の支援者による募金であり、これは日本盲人会連合、日本盲人社会福祉施設協議会及び全国盲学校長会の協力はもとより、「愛盲シール」を介した大勢の賛助会員による協力の成果である。

(1)事業内訳

本年度は他の事業の影響を受け、当初の予定がずれ込んだ。12 月末にようやく配分委員会を開催、配分額を決定し、年明けに各申請団体へ決定通知を行った。

配分内容は申請件数 81 件、申請金額 11,094,007 円に対し、決定件数 81 件、決定金額 8,734,685 円であった。尚、決定事業内容の内訳は以下の通り

① 施設の改善・備品等の購入	11 件
② 会議・講演会・研修等	30 件
③ 出版・啓発活動等	20 件
④ 調査研究	5 件
⑤ 文化・スポーツ・その他	15 件

(2)第 60 回愛盲シール運動の実施

1958 年、小磯画伯による第 1 回の「愛盲シール」が世に出て 60 年が経過した。従来のままの対応では支援者（募金協力者）の減少・高齢化の中で厳しい状況が予想され、対応策を検討した。その成果の一つが第 1 回シールから第 60 回の本年度までのシールを 1 枚のシートに印刷し、一覧できるようにして、これを支援者や各団体に配布したことである。

尚、愛盲シール平成 29 年度実績は以下の通りである。

() は前年

・愛盲シール発送件数 6,385 (6,957)

<3 団体分担金>

・日盲社協 300,000 円・日盲連 663,000 円・盲学校長会 315,600

計 1,278,600 円

<寄付> 件数 3,096 件 (3,414 件) 寄付金額 8,900,409 円 (8,756,111 円)

分担金 + 寄付金 = 10,179,009 円 (9,960,061 円)

2 各種会議

(1) 理事会

①第 9 3 回理事会

期日：平成 29 年 5 月 24 日 (水)

場所：日本盲人福祉センター

主な議題：平成 28 年度事業報告及び同決算

②第 9 4 回理事会

期日：平成 29 年 6 月 15 日 (木)

場所：日本盲人福祉センター

主な議題：理事長選任

③第 9 5 回理事会

期日：平成 30 年 3 月 15 日 (木)

場所：日本盲人福祉センター

主な議題：平成 29 年度補正予算、平成 30 年度事業計画及び同予算、
サイトワールド事業の他団体への譲渡

(2) 評議員会

①第 8 0 回評議員会

期日：平成 29 年 6 月 15 日 (木)

場所：日本盲人福祉センター

主な議題：平成 28 年度事業報告及び同決算

②第81回評議員会

期日：平成30年3月30日（金）

場所：日本盲人福祉センター

主な議題：平成29年度補正予算、平成30年度事業計画及び同予算、
サイトワールド事業の他団体への譲渡

（3）監事監査

期日：平成29年5月11日（木）

場所：日本盲人福祉センター

（4）三役会議

期日：平成30年1月20日（土）

場所：日本盲人福祉センター

主な議題：平成30年度事業計画、法人事業改革、サイトワールド事業の扱い等

（5）法人事業改革委員会

改革の方向として他の法人との合併、そして単独での改革という選択肢に沿って議論を行ったが、どれも有効な具体策が見いだせず、更に議論を深めていくということになった。

① 第1回法人事業改革委員会

期日：平成29年9月28日（木）

場所：日本盲人福祉センター

② 第2回法人事業改革委員会

期日：平成30年1月20日（土）

第Ⅱ章 公益事業

1 盲人福祉に関する情報資料の収集及び提供

（1） 被災視覚障害者支援事業

本年度は、より具体的な支援や動きはなかった。

(2) ネパール大地震被災視覚障害者支援事業

NAWB（ネパール盲人福祉協会）と NAB（ネパール盲人協会）が実施している復興支援事業の活動を支援するため、平成 29 年度分として 20 万円を送金した。

(3) WBU（世界盲人連合）関連

① オフィサー会議（インド：デリー）

5月8日～10日 参加者1名

② オフィサー会議（東京）

11月8日～10日

場所：日本盲人福祉センター及び東京都盲人福祉センター

参加者：海外30名 日本8名

(4) WBU—AP（世界盲人連合アジア太平洋地域協議会）

① マッサージ委員会理事会（中国：福州）

5月22日～23日 参加者 3名

② 訪日視察団

（香港盲人輔導会） 11月21日～23日 参加者15名

（南京盲学校視察団） 1月22日～26日 参加者6名

(5) サイトワールド2017（第12回）

本年度も「サイトワールド実行委員会」へ業務委託した。

期日：11月1日～3日

場所：墨田区 すみだ産業会館

参加者：約4500名

(6) 視覚障害者の就労実態調査に関する調査研究事業

生協福祉助成金事業として実施。

アンケート調査から視覚障害者の就労実態を明らかにし、課題を探り、今後の

支援の在り方を検討し、提案のかたちでまとめた。

事業実施期間は平成29年1月1日平成29年12月31日

(7) 「自由民主」点字版（活字併用）の作成 年4回発行

(8) ニュースレター（当委員会広報誌）の作成 年2回発行（合計2100部）

(9) 国際活動に関する情報提供

WBUの広報誌、メールマガジン等の記事の中から日本の盲人福祉の参考になると思われるものや、国際交流に役立つものを選び、これを翻訳し、ニュースレター等を通じて公報した。

2 盲人福祉に関する啓発公報

(1) 共催事業

① 「第47回朗読録音奉仕者感謝の集い」 <鉄道弘済会>

△関東甲信地区表彰 9月6日 場所：弘済会館

△全国表彰 9月28日 場所：〃

② 「第54回点字毎日文化賞」 <点字毎日>

10月24日 場所：毎日新聞東京本社

(2) 視覚障害者選挙情報支援プロジェクトの実施

第48回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官の国民審査が10月22日、実施され、当委員会は本プロジェクトに参加する各団体と協力し、都道府県選管との契約を結び、実施した。点字版については比例区及び国民審査については47都道府県全てで実施されたが、小選挙区では30、音声版では比例、国民審査はそれぞれ44、拡大版は比例、国民審査はそれぞれ26都県で、小選挙区はゼロであった。

尚、今回の選挙における制作部数は3媒体合計で156,430部である。

(点字版)	85,875部
(音声版)	63,022部
(拡大版)	7,533部

(3) その他 各種行事への後援及び協賛

- ・第15回オンキヨー世界点字作文コンクール
- ・第14回本間一夫文化賞
- ・第70回全国盲人福祉大会
- ・第65回全国盲人福祉施設大会
- ・第32回全日本視覚障害者柔道大会
- ・第31回全国盲人写真展

(4) 日韓伝統音楽交流

日盲連との共催で韓国シロアム視覚障害者福祉館所属の伝統音楽演奏家と日盲連音楽家協議会のメンバーによる「日韓伝統音楽交流」を国内3か所で実施した。

11月7日・大阪、11月9日・名古屋、そして11月11日・東京で開催した。韓国より19名、日本側より48名の演者・スタッフによって上演され、来場者は3会場で617名であった。

3 地域貢献活動の参加

(1) 新宿区社会福祉協議会 法人会への加盟

(2) 第5回日盲連フェスティバルへの参加

実施 平成29年9月10日

(3) 第6回とつか地区協フェスタへの参加

実施 平成30年3月11日